

## 2.9 環境問題に関する情報の量や質への満足度、取得方法

環境問題に関する情報への満足度を項目別に聞いたところ、「(まあ)満足している」「十分満足している」及び「まあ満足している」の合計)という割合が最も高かったのは、「あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報」の42.2%となった。次いで、「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」(34.0%)、「日常生活が環境に及ぼす影響」(31.7%)が多くなった。

項目別ではなく総合的な環境問題に関する情報への満足度をみると、「(まあ)満足している」割合は29.8%となり、前年度(16.3%)よりも満足度は高まっている。

項目別についても時系列でみると、全ての項目で前年度よりも高い結果となった。特に「地域の情報」、「環境問題が生活に及ぼす影響」、「日常生活が環境に及ぼす影響」などについては、大幅に増加をした。ただし、この増加については、選択肢をわかりやすくするために括弧書きでどのような情報かを補う等を行い、多少これまでの選択肢と異なる選択肢を用いたほか、今年度調査では過年度の調査とは異なり前半でさまざまな環境問題への意識等を聞く設問を追加していることから、回答に変化があったことが考えられるため、単純な比較については留意が必要である。

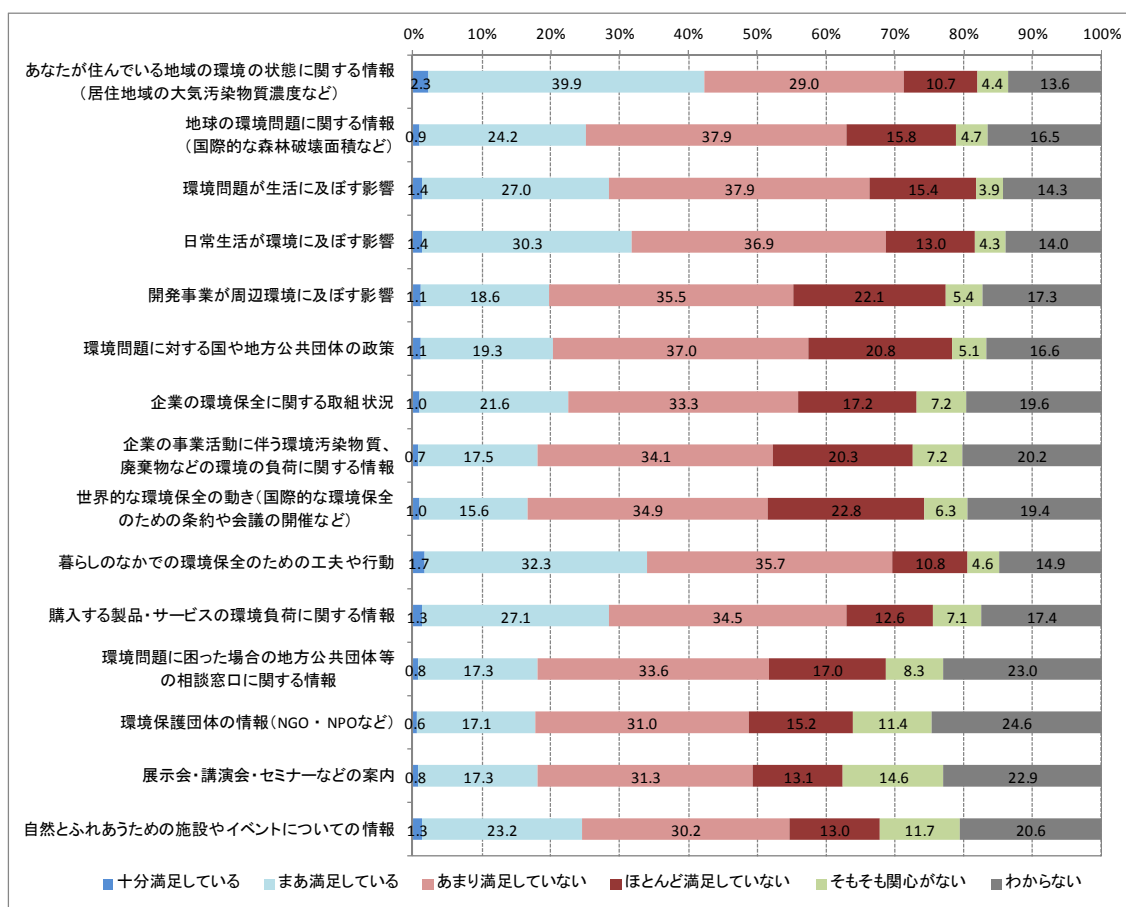


図 45 環境問題に関する情報への満足度 (情報別)

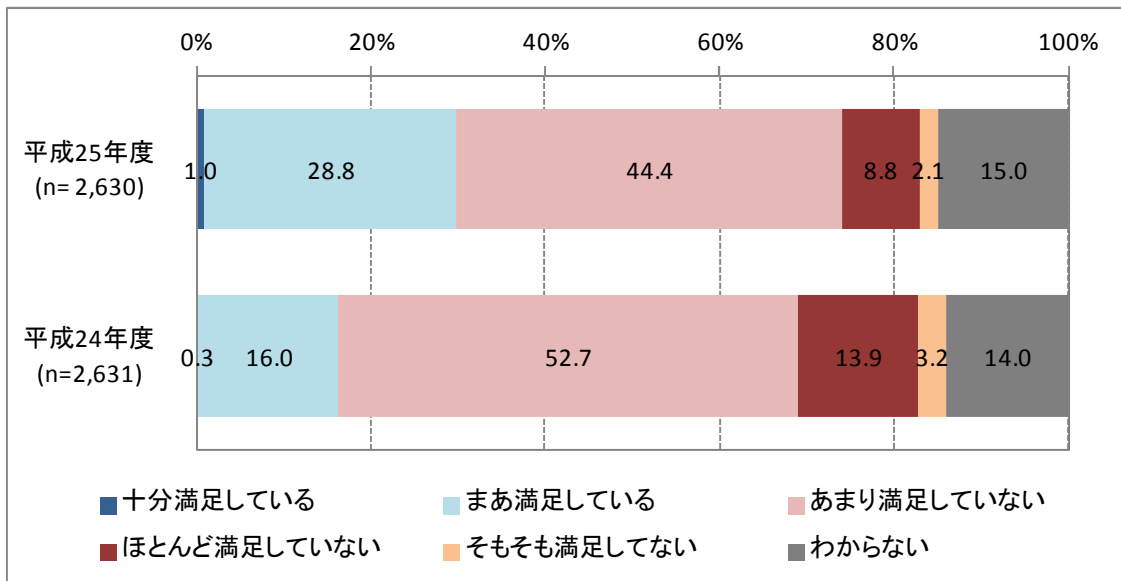


図 46 環境問題に関する情報への満足度（総合、時系列）

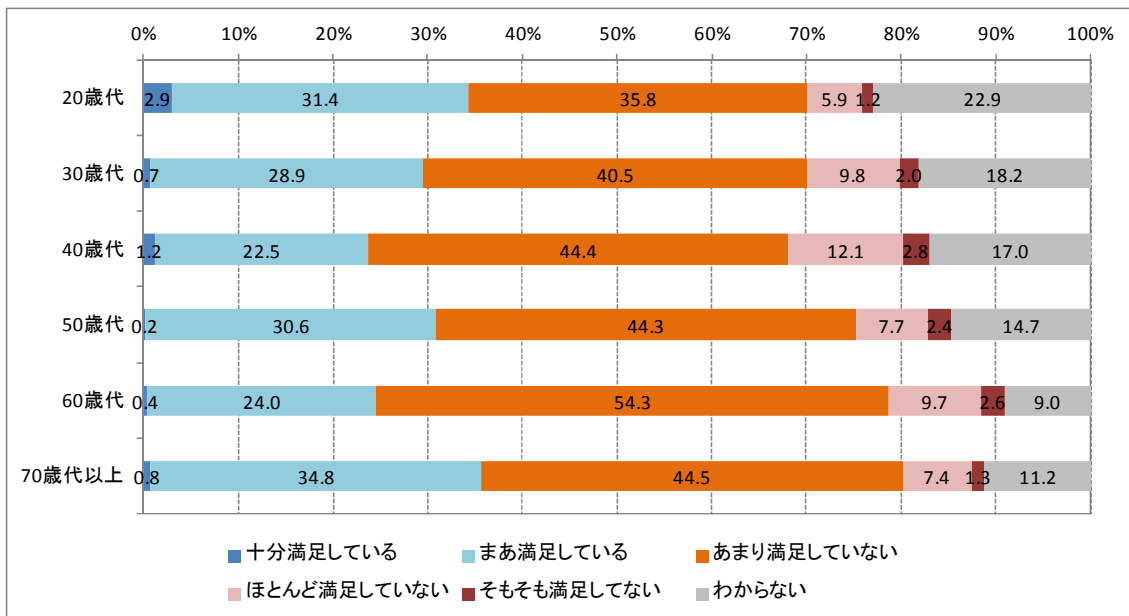


図 47 環境問題に関する情報への満足度（総合、年代別）

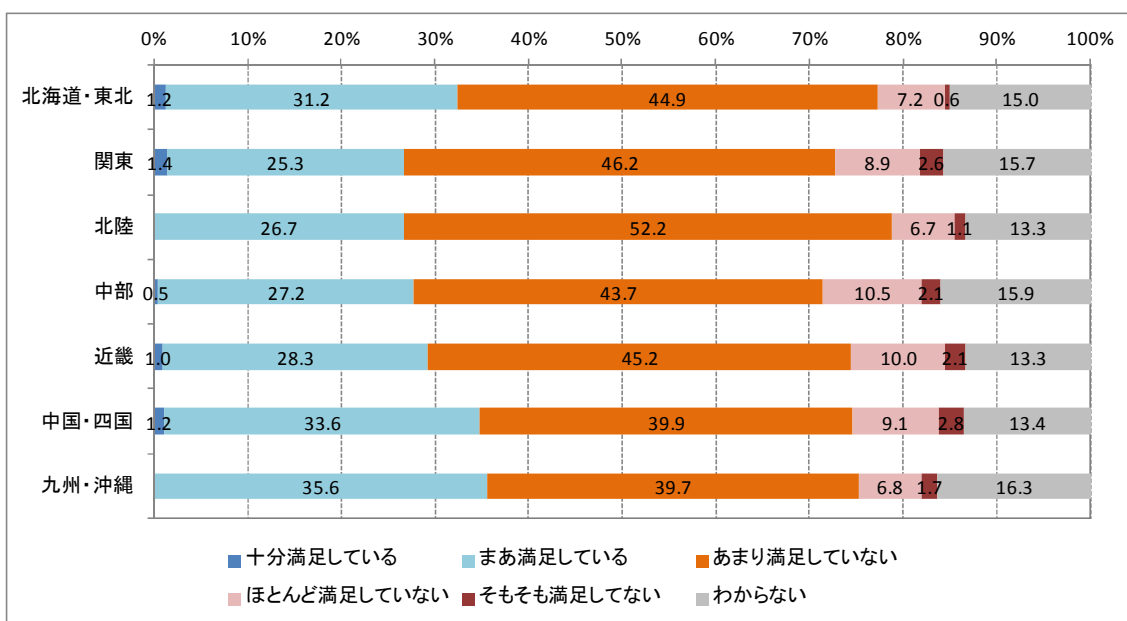


図 48 環境問題に関する情報への満足度（総合、地域別）

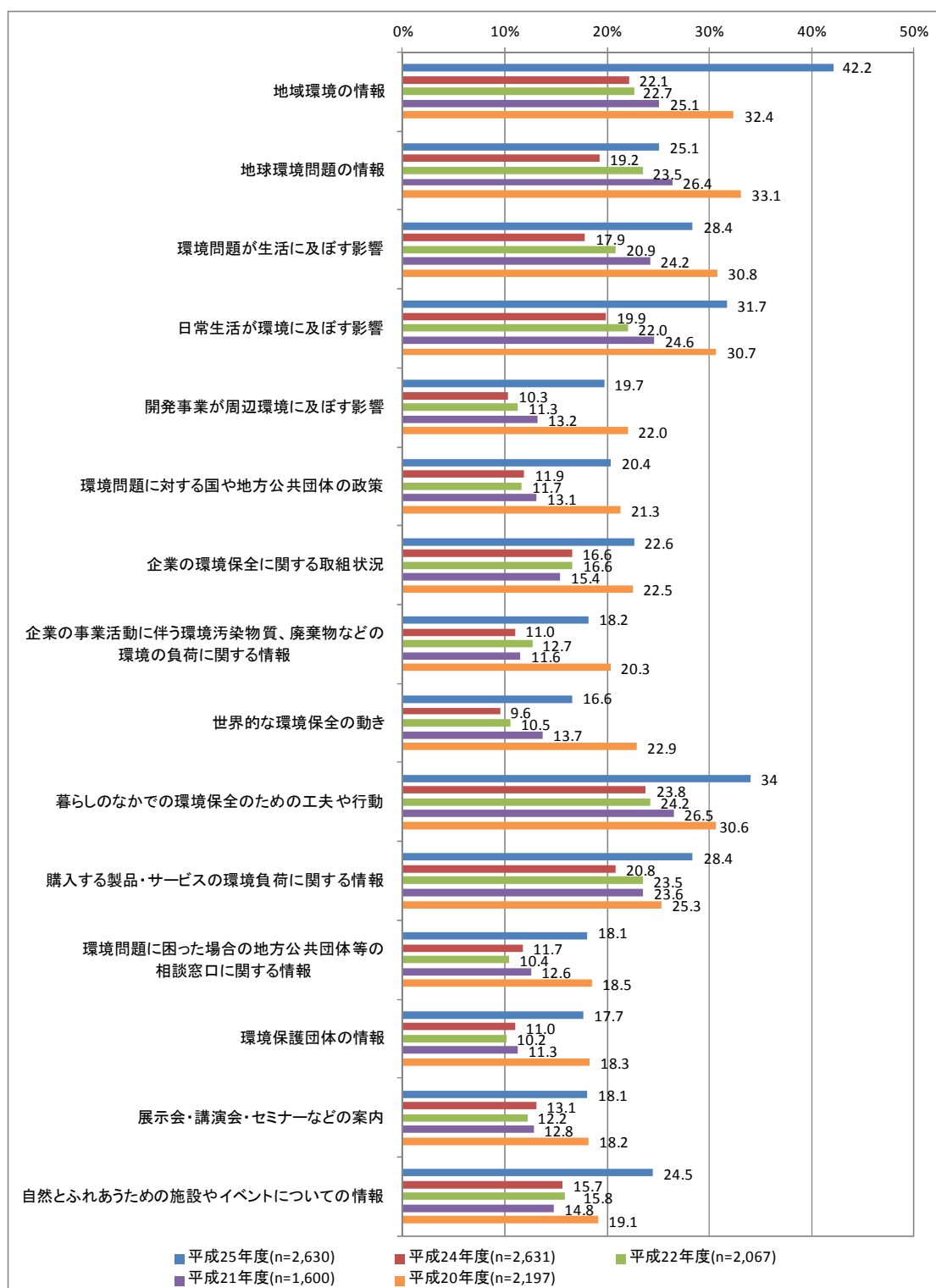


図 49 環境問題に関する情報へ満足している割合（情報別、時系列）

※「十分満足」+「まあ満足」の割合

※今年度より選択肢に括弧書きで説明を追記するなど、文言が多少異なる。グラフは過去からの簡略な選択肢を利用

環境問題に関する情報の取得方法は、ほとんどの項目で「テレビ」が最も多くなったが、「相談窓口」、「セミナー」、「イベント」については、ホームページとの回答が最も多くなった。

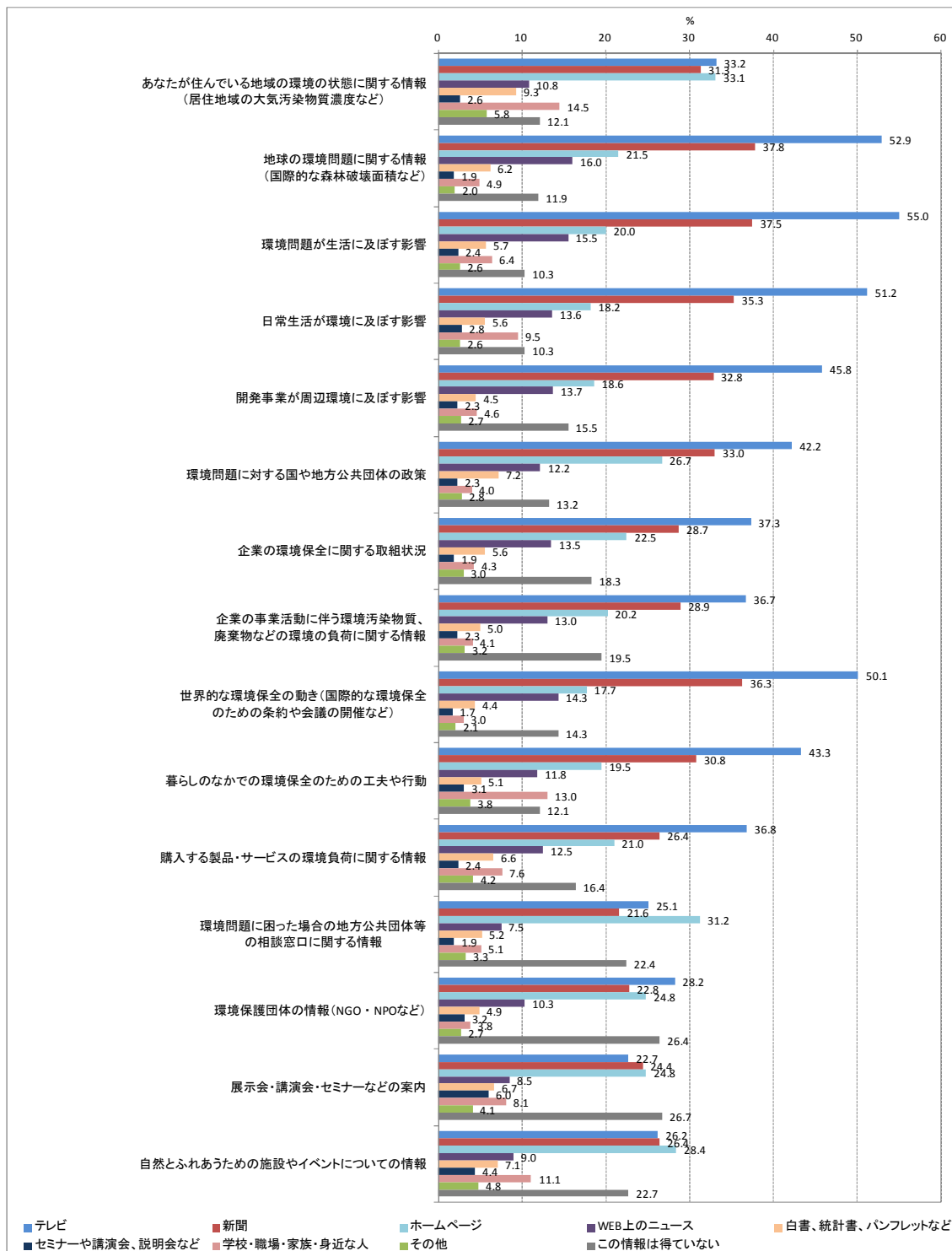


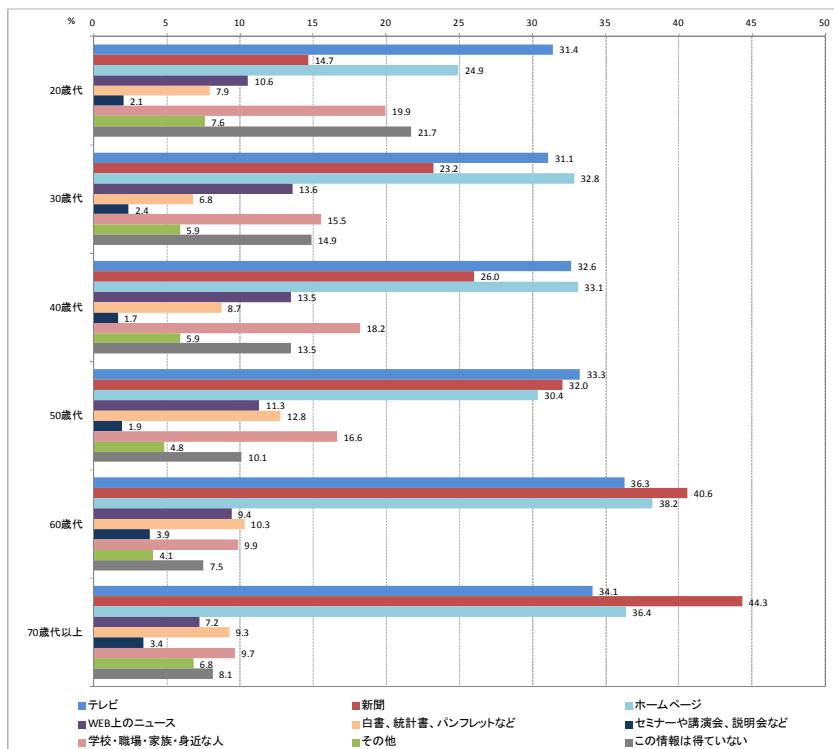
図 50 環境問題に関する情報の取得方法

環境問題に関する情報として満足度の高かった2項目（「あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報」及び「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」）について、年代別に情報の取得方法をみたところ、年代による差がみられた。

「あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報」については、いずれの年代でも「テレビ」の割合は高く、3割以上となった。60歳代以上では、「新聞」の割合が最も高く4割を超えたが、20代から40代では「新聞」の割合は3割未満となった。また30歳代及び40歳代ではホームページの割合が最も高くなった。

「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」については、70歳代未満では「テレビ」の割合が最も高くなった。70歳代以上では、「新聞」が最も高い割合（47.7%）となった。

【あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報（居住地域の大気汚染物質濃度など）】



【暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動】

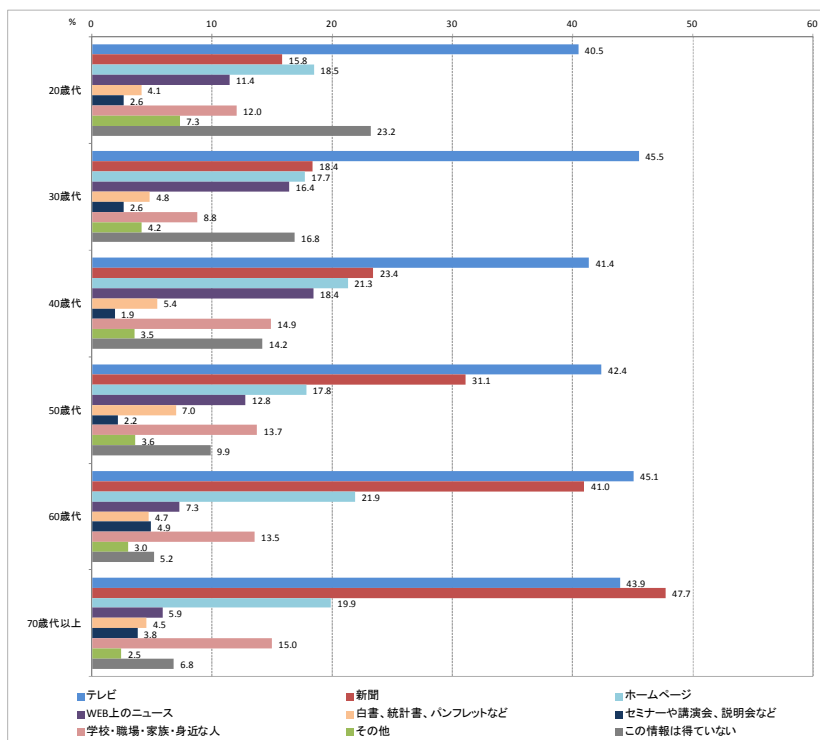


図 51 環境問題に関する情報の取得方法（年代別）

※満足度の高かった上位2項目について

また、過年度調査において、「満足度」及び「不満足度」の高かった項目について、今年度調査において、「(まあ)満足している」と回答した人に「満足している理由」を聞いたところ、「満足している理由」としては、いずれの項目においても、「情報の内容がわかりやすい」が最も多く、次いで「情報が見つけやすい」が多くなった。

同様に、「(あまり)満足していない」と回答した人に、「満足していない理由」を聞いたところ、「満足していない理由」としては、いずれの項目においても「情報の量が少ない」となった。「環境問題に対する国や地方公共団体の政策」及び「世界的な環境保全の動き」については、「情報の量が少ない」に次いで「情報の内容がわかりにくい」ことが多く挙げられた。その他の項目では、「情報の量が少ない」に次いで「情報が見つけにくい」が多く挙げられた。

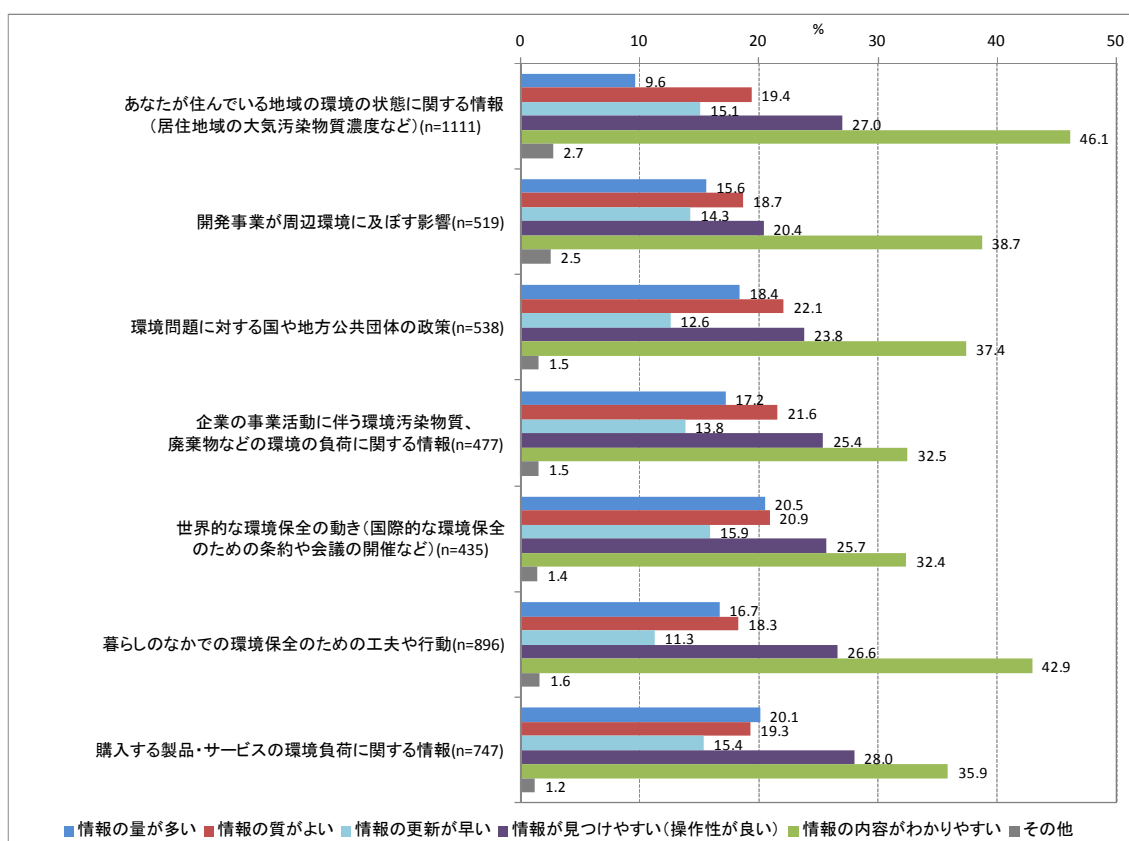


図 52 環境問題に関する情報について満足している理由



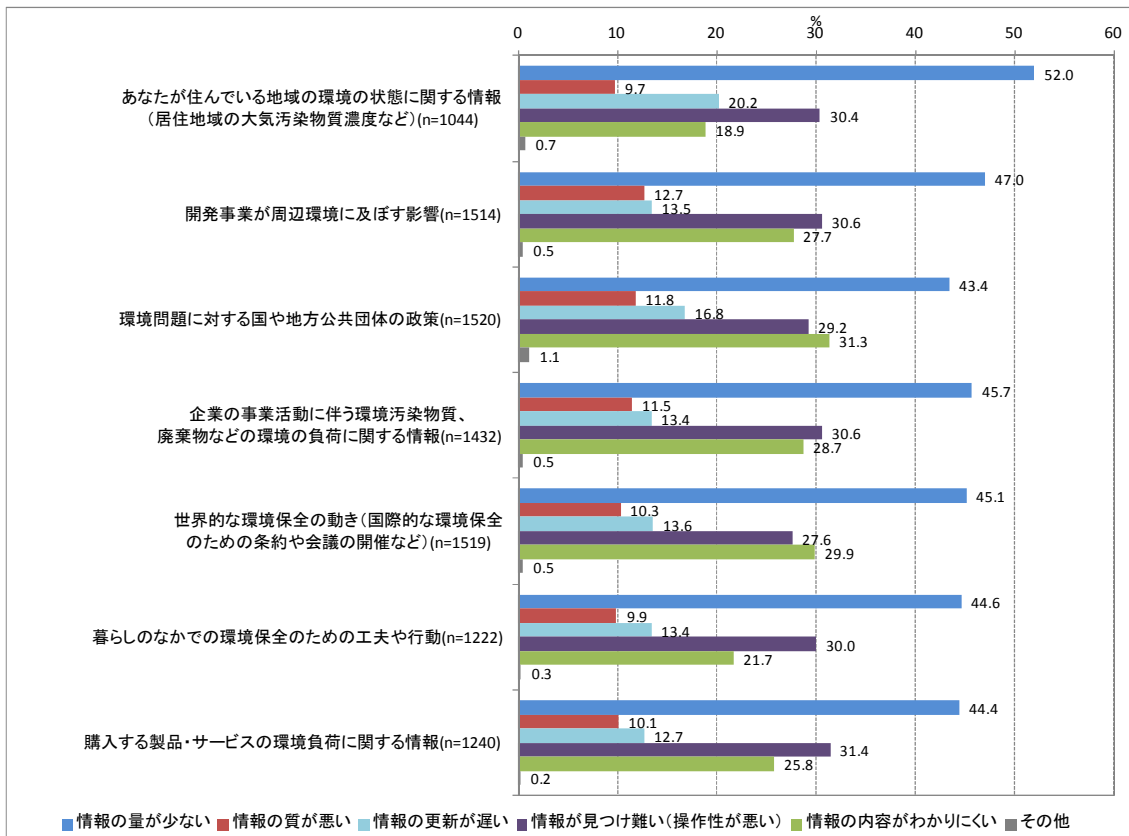


図 53 環境問題に関する情報について満足していない理由